



やりました!

インラインフォイル印刷で決まり!

最後に登場したのがオフセット印刷機でワンパス(一度通し)で箔押しまでできるインラインフォイル印刷。ホログラム箔を全面に印刷した上に4色刷りする。これはコストも効果もバッチリ! めでたくこの加工に決定だ。



『空山基 原寸大作品集
RELATIVISION』(グラフィック社)

いよいよ最後の砦
インラインフォイル印刷は
どうだ!?

さあ、最後に残ったインラインフォイル印刷はどうだろうか。これは詳しくは本書五六ページで説明しているが、簡単に言うとオフセット印刷機で箔押しもできる、画期的な機械で、二〇〇六年に日本初のインラインフォイル印刷機が中央印刷株式会社に導入された。今までインラインフォイル印刷では銀箔だけが使われていたが、今回は祖父江さんがホログラム箔で加工して欲しいとオーダー。この印刷機で使えるホログラム箔が見つかり、無事サンプル印刷があがってきた。

「最初に考えたアルガラスのレインボーより、結果的にフォイル印刷の方が、この作品集には合ってたんですよ。ホログラム箔は少しキラッとした効果が少ないんですが、それが空山さんの絵を非常に活かしてくれました。いやあ、災い転じてフクを脱ぐ。……これはギャグになってないから書かないでください(苦笑)」

「災いはだいたいいい方に転ぶんですよ」と、超多忙にも関わらず、そんな「災い」を楽しむ余裕すら見せる祖父江さん。これからはもどんなピカピカ表現が生み出され、私たちが驚かせおもしろがらせてくれるのか楽しみだ。

インラインフォイル印刷は別提案もあった

インラインフォイル印刷の色校をとった際、中央印刷の方から、こんなのはどうか、という提案があった。女性の服やくちびるなどの部分だけに箔押し、そこだけキラッとさせる表現だ。「これはこれですごくいいんですけど、今回は作品集なので、デザイナーなど作者以外の人があまりいじくるのはどうかと思うんです。空山さんの原画では服は光っていませんから。効果自体は気に入ってますけど、この本には合わなかったですね。残念」



なかなかいいねえ



ウツトリ。

こぼれ話

ネオンフィルムに喜ぶ祖父江さん

ネオンフィルムを印刷後に貼るという案は、この作品集には合わないということで却下になった。しかし祖父江さんにはひとつ収穫が。「印刷していないただの白い紙にも試しにネオンフィルムを加工してもらったんですが、これがいいですよ。いい感じのムラができる。こういう色の偏光する紙もありますが、それにはこんなムラはできないですからね。別の機会にこれはぜひ使ってみよう」とのこと。祖父江さんはこうして新しい素材表現を獲得しているのだなと垣間見えた一瞬だ。



これがローランド・インラインフォイラー付ROLAND700

オフセット印刷機で箔押し!? 日本初・インラインフォイラー印刷

メリット満載の新技术

従来の箔押しは常識を覆した画期的な印刷機が登場した。その名も「インラインフォイラー印刷」。これは中央印刷株式会社から日本で初めて導入した、オフセット印刷と同時に箔押しができてしまうという驚きの印刷機なのだ。

具体的には、まず箔押ししたい絵柄部分に特殊な接着のりを印刷。次にその上に箔のシートが押し付けられ、その後が付けられている部分にだけ箔が転写されるのだ。この後はUVオフセット印刷、最後にニス引きされて完成。この作業がワンパス（一度通し）でできてしまうのだ。すごい!

必要がなくなり、かかる時間が大幅に削減。通常の箔押しはあまり面積の大きなものはうまく加工できないことがあったが、インラインフォイラー印刷なら、原料の箔の幅以内ならどんな面積でも大丈夫。またのりもオフセット印刷と同じPS版による印刷なので、百線程度までの細かい表現が可能。そして箔押しの見当制度も非常にいい。使える箔は、通常は銀のみ。要望によってはホログラム箔や金箔などを使える場合もある（20ページ参照）。

このように非常にメリットの多いインラインフォイラー印刷だが、最後に箔の定着をよくするためにニス引きをするので、マットな紙を使い、箔以外の部分をマットに仕上げたいときは、箔部分だけのニス版を作る必要があるだろう。

また従来の箔押しだと箔部分はかなりつるつるな仕上がりになるが、インラインフォイラー印刷では紙の質感がでるような、箔押しよりはラフな表面になる。

熱と圧をかける通常の箔押しが「ホットスタンプ」と呼ばれるのに対し、熱も圧もかけないことから「コールドフォイル」とも呼ばれるインラインフォイラー印刷。この新しい箔押しの世界がこれからどんどん広がってきそう。

インラインフォイラー印刷 5大特徴

1. 細かいラインもOK

写真ではマッチ棒と比べているが、オモテ書などの細いせんも箔押しできる。網点もそうだが、100線程度まで細かく箔押しできるからその再現力だ



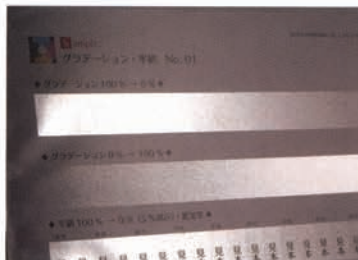
4. 箔の上にオフセット印刷

箔押しした上にプロセスや特色をUVオフセット印刷できるので、上にのせる色によって非常に多彩なメタリック色の表現ができる



2. 網点が再現できる

初めて見た人は必ず驚くと思うが、箔を網点表現できる。なのでグラデーションなど諧調のある画像なども箔押しでき、今までに見たことのないような表現ができるのだ



5. 見当が合う

従来の箔押しはどうしても見当ズレを起こしやすかった。しかしインラインフォイラー印刷はオフセット印刷機ワンパスで箔を押せるため、その見当精度は非常によい

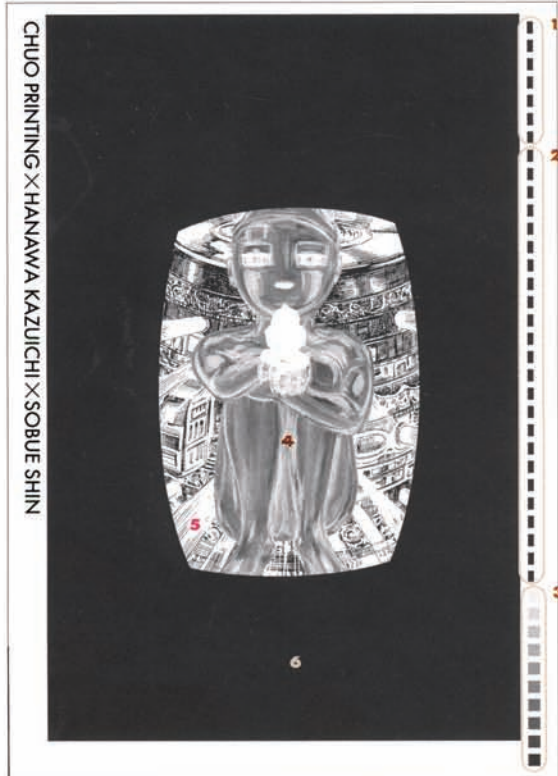


03: 納期が早い/価格も安い

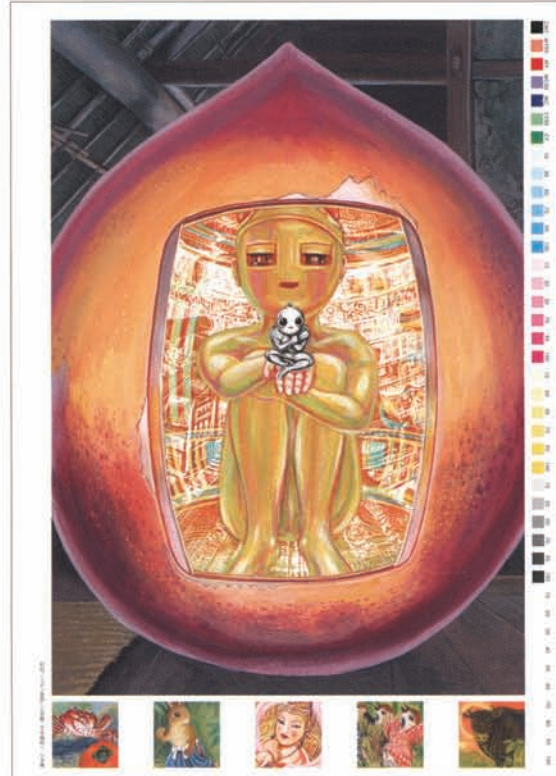
今までは、オフセット印刷の後、箔押し加工屋さんへ移動して行われていたが、インラインフォイラー印刷は一気に箔押しまでできてしまうので、納期は非常に早い。また価格面でも、従来箔押しのような金属版がいらないのでコスト削減に繋がっている。

コスト	面積が大きくなるほど箔押ししやすくなる
時間	印刷と箔がワンパスでできるので非常に早い
特徴	箔押しを広範囲に使うことができ、その上に印刷することで表現の幅が広がる。細い線や網点を箔で再現でき、見当精度も非常によい
注意点	従来の箔押しとは仕上がりの質感が異なるので、まずは見本を見た方がよい。現状、ニス引きは必須

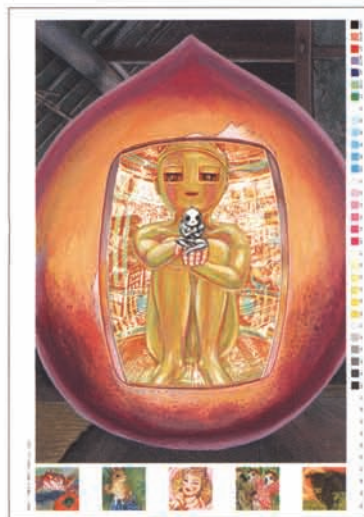
これが箔押し用の版



これがオフセット印刷する、プロセス4色版 初出『ニッポン昔話』(小学館)の花輪和一/小学館

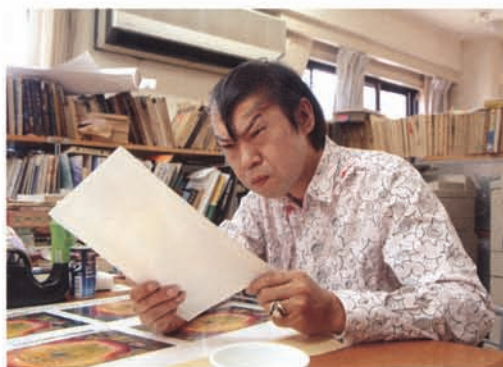


1. CMYK掛け合わせた色のチャート。左側半分のみに箔がベタで押されている 2. CMYKそれぞれ単色と箔の掛け合わせチャート。左半分のみに箔が押されている 3. 箔の網点チャート。上から順に10%刻みで濃くなる 4. 真ん中の人物は、シャドウ部分は薄く、ハイライト部分は濃く箔押しされるように網点処理されている 5. ここは細い野線で表現された線画を箔押しする 6. 絵柄部分の下にはベタで箔が押される



これが完成した作品。全体的にピカッと輝き、真ん中の桃の中は細い線の箔で模様が表示され、人物は何とも言えぬ陰影を持った光り方に。本書初版限定で、このできあがった作品を挟み込み! 詳しくは78ページを参照

この画期的な印刷に祖父江慎さんが挑戦する。本書二〇ページでも紹介したように、実は祖父江さん、もうこの印刷を実際の仕事で使用したことがある。でもその際はベタでホログラム箔を使用したのみ。「やっぱり箔に網点が使えないというのがすごい特徴ですよ。それを使って、仕上がったものを机に貼って拝みたいと思うんです(祖父江) そういってマンガ家・花輪和一さんの作品をお借りし、その箔版を制作。(上図)二度の色校正を経てできあがったのがこれ。をを、これこそ拝みたいかなるようなピカピカ作品ではないか!



1度目の校正では思ったようにはいかず、唸る祖父江さん。「箔のいるんなバリエーションを入れようとしてやり過ぎ、失敗。作品がどうよく見えるかを考えてやり直した」

祖父江慎さんが インラインフойラー印刷に挑戦

中央印刷株式会社
新宿区新小川町4-24
03-3269-0221
長野県岡谷市川岸上1-1-20
0266-22-5551
<http://chuo-print.com/>